



中

JR博多駅から電車で一時
間。田園が広がる福岡県大木
町で、三歳と生後六カ月の二
児を育てる主婦の吉村万里子
さん(四)は三日に一度、紙お
むつ専用の町の回収ボックス
を使う。

毎日何度も交換するため、
すぐにゴミがたまる。「汚物
がついて臭いも気になり、早
く捨てたい」

二歳と六カ月の女兒二人を
育て、二日に一度利用する主
婦(三)は「近くで捨てられ、
便利」と喜ぶ。

同町では二〇〇八年に「ご
みゼロ」を宣言し、順次、分
別を細分化。焼却処理してい
た紙おむつも分別し、一二年
に全国で初めて紙おむつのリ
サイクルを始めた。

子育て支援センターや住宅
地など町内五十九カ所に専用
ボックスを配置し、週二回回
収。専門業者がパルプやプラ
スチックなどに分解し、建設
資材や固形燃料などにしてほ
ぼ全てを再生利用している。

専用のごみ袋もあり、一袋
(十五リットル) 十五円。三十五リ
ットルは二十円。



紙おむつを捨てるための専用
回収ボックス＝福岡県大木町
の子育て支援センターで

増える消費 リサイクル急務

入りで、一袋六十円の可燃ご
みの袋よりも安く分別を後押
しする。

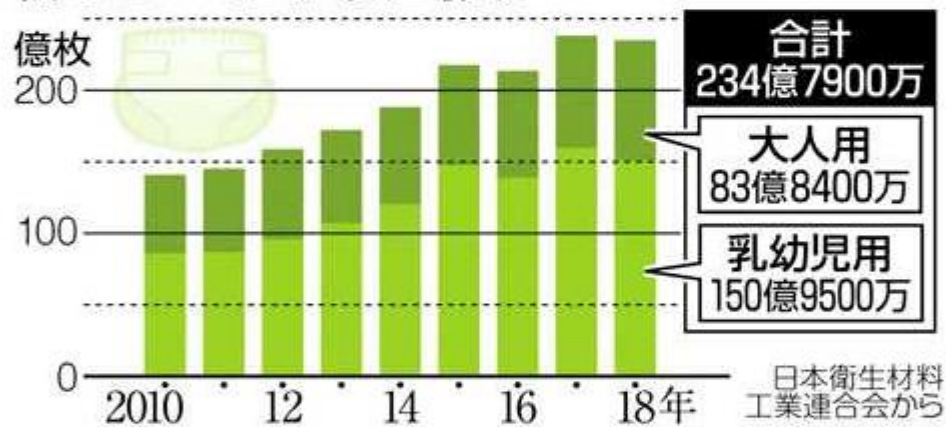
可燃ごみの1割

開始前は可燃ごみの一割
(重量ベース)を紙おむつが
占めていた。一一年度以降は
毎年百トをリサイクル。生ご
みの堆肥化なども進め、〇五
年度に約二千三百トあった家
庭から出る可燃ごみは一八年
度は九百トに。北九州市立大
の松本亨教授によると、同町
のように再生利用すれば、二
酸化炭素(CO₂)の排出を40
%削減できるといふ。

育児や高齢者介護に不可欠
な紙おむつは環境負荷の大き
い生活用品の一つだ。

大手メーカーによると、新
生児は一日十回前後交換する

紙おむつの生産数量推移



ユニ・チャームが作った紙お
むつ。左が新品、右がリサイ
クルパルプを使ったもの



といい、昨年の国内の生産総
数は約二百二十五億枚に上る
。グラフ参照。ごみも多く、環
境省によると一五年度の全国
の一般廃棄物の約5%が紙お
むつ。高齢化で三〇年度には
7~8%に増える見込みだ。

素材にはプラも

紙おむつはパルプのほか、
プラスチック製の不織布、防
水フィルムなど複数の素材で
でき、汚物もついていること
などから分別が難しい。この
ため、ほとんどの自治体では
焼却されている。一方、水分
を多く含むため最初は燃えに
くく、燃え始めると、プラ
スチックが燃えて一気に高温に
なり、焼却炉を傷めるといふ。
こうした中、メーカーやご
みを排出する施設などから
も、少しずつリサイクルの動
きが始まっている。

特別養護老人ホームの「安
立荘」(愛知県みよし市)で
は昨年、紙おむつの処理機を
敷地内に設置。一日に出る使
用済み紙おむつは二百五十キ
ロに上り、一部を粉碎、乾燥処
理している。

処理機は、紙おむつメーカ
ーや廃棄物処理業者、自治体
などで一七年に発足した「N
IPPON紙おむつリサイク
ル推進協会」(名古屋市中)の紹
介で、会員の業者が試行的に
提供。処理した紙おむつをペ
レット状の燃料に加工するこ
となどを検討している。

元王子ネピア役員で、同協
会の須東亮一会長(六)による
と、ほかにも会員らが処理機
を試行しており、「リサイク
ルのモデルをつくりたい」と
意気込む。

メーカー大手のユニ・チャ
ーム(東京)は使用済み紙お
むつを新品に再生させること
に成功したと十月に発表。焼
却処分と比べ、CO₂を九割も
減らせたといい、実証実験を
している九州の一部地域で二
一年度から事業化を予定す
る。CSR本部参与の宮沢清
さん(六)は「メーカーの社会
的な責任」と説明する。

環境省も今後、紙おむつの
リサイクルを推進する方針。
こうした先進事例を踏まえ、
留意点を盛り込んだガイドラ
インを策定する予定だ。

(長田真由美)